



くしろ市議会だより

2021年
11月
No.72

News from Kushiro City Assembly

発行／釧路市議会
編集／議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地

TEL 31-4581 FAX 23-7679
メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/
shigikai/index.html



フェイスブックページ
https://www.facebook.com/
kushiroshigikai



議会日程

7/14

議会広報特別委員会

7/15、16、21

上下水道事業審査特別委員会

8/6、23

議会広報特別委員会

8/26

議会運営委員会
石炭対策・関連エネルギー調査
特別委員会

8/30

都心部市街地整備特別委員会

9月定例会（会期17日間）

9/1

本会議
市政報告、提案説明、質疑・一般質問

9/2、3

本会議
質疑・一般質問

9/6～8

予算決算常任委員会分科会/
各常任委員会審査

9/8

議会広報特別委員会

9/9

各常任委員会審査

9/10

委員会採決
本会議
委員長報告、討論、採決

9/13～15

予算決算常任委員会/分科会審査

9/16

予算決算常任委員会審査、採決

9/17

本会議
予算決算常任委員長報告、採決

9月定例会の概要

9月1日(水)に開会した釧路市議会令和3年第4回9月定例会は、9月17日(金)に17日間の会期を終え閉会しました。

開会日の冒頭、市長より「新型コロナウイルス感染症への対応」、「長期滞在事業の令和2年度実績」などについて市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、14人の議員が登壇し、新型コロナワクチンの接種体制、津波時の避難施設の見直し、通学路の安全対策などに関する質問があり、多岐にわたり議論が交わされました。また各委員会においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の補正予算のほか、それぞれの所管事項についての審査を行いました。(2・3・4面参照)

10日の本会議採決では、令和3年度一般会計および特別会計補正予算などの議案のほか、「出産育児一時金の増額を求める意見書」などを原案どおり可決しました。(4面参照)

また、13日から16日にかけては予算決算常任委員会と各分科会において、令和2年度の決算審査が行われ、17日の本会議採決では決算議案を認定し、併せて、教育委員会委員などの人事案件に同意しました。(4面参照)

(文責 議会広報特別委員会 副委員長 板谷昌慶)

議会報告会を開催します

「市民に分かりやすい開かれた議会」を目指して議会報告会を開催します。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で11月2日(火)から11月5日(金)までの日程で、市内4会場で開催します。参加された皆さまからご意見をいただくとともに、その趣旨を市議会に反映できるよう努めます。

当日参加もできますが、各会場の収容人数には限りがあることなどから、できるだけ電話やメールで事前のお申し込みをお願いします。皆さまのご参加をお待ちしております。【入場無料】



2019年の議会報告会の様子

開催日	開催時間	会場 [定員の目安]
11/2(火)	18:30～20:00	音別町行政センター [30人]
11/4(木)	10:30～12:00	中央図書館(7階多目的ホール) [40人]
	18:30～20:00	コア鳥取 [15人]
11/5(金)	18:30～20:00	阿寒町公民館 [20人]

参加申し込み・お問い合わせ

TEL 0154-31-4581

gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

右上のQRコードからメールで申し込むこともできます。



◎次回の12月定例会は、12月1日(水)午前10時から開会の予定です。

予算決算常任委員会による決算審査を行いました

今定例会は、本年2月に予算決算常任委員会を設置してから初めてとなる決算審査を行いました。

これまで決算議案は、それぞれ8～9人の委員で構成する各会計および企業会計の2つの決算審査特別委員会において審査を行っていましたが、今定例会では、全ての決算議案を議長を除く全議員で構成する予算決算常任委員会に付託し、各常任委員会および特別委員会単位で構成する5つの分科会に、それぞれ所管する決算議案を分担して審査を行いました。

分科会審査終了後、全体会で各分科会審査結果の報告、市長に対する総括質疑を行った後、採決を行い閉会しました。

※予算決算常任委員会は、昨年の12月定例会における委員会条例改正により本年2月26日に設置された、予算および決算議案について審査する新たな常任委員会です。

※議会傍聴にお越しの際は、新型コロナウイルス感染症防止対策として「マスクの着用」「手指消毒の徹底」「傍聴席での間隔を空けた着席」にご協力をお願いいたします。

会派略称説明

自政ク 自民市政クラブ

公明党 公明党議員団

市民連合 市民連合議員団

共産党 日本共産党議員団

新風 釧路に新しい風

新創ク 新創クラブ

本会議

質疑・一般質問

9月1日(水)～3日(金)

■今定例会では、14名の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

9月1日(水)



公明党
松原 慶子 議員



「避難行動要支援者避難支援事業の推進のため、若者の町内会加入促進を」

問 避難行動要支援者への訪問調査の進捗状況や本事業への町内会の参加状況、高齢化が課題となっている町内会への若者の加入促進について聞きたい。

答 要支援者名簿登載者2,448名のうち721名は調査を終え、その中で避難支援が必要な在宅者は85名であった。また、町内会の本事業への参加状況は、要支援者が所属する449町内会のうち16町内会にとどまっていることから、さらなる事業の推進を図るとともに、若者を含めた町内会の加入促進に向けたさまざまな取り組みを行っていききたい。



自政ク
金安 潤子 議員



「リサイクル拠点として再生工場を誘致し、産業の創出を」

問 世界的な環境保全の流れと完全循環の必要性が高まる中、「ボトルtoボトル」によるペットボトルリサイクルが進められている。リサイクルの拠点として再生工場を誘致し、産業の創出につなげられないか。

答 リサイクル事業は、低コスト化のため資源を集約して処理することから、大量輸送が可能であり、温室効果ガスの排出量が比較的少ない海運業を持つ釧路市では可能性のある産業と考える。さまざまな支援策を活用しながら、リサイクル産業等の創出に努めたい。



市民連合
板谷 昌慶 議員



「早急に家庭内感染拡大を防ぐための対策を」

問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の増加に伴う家庭内感染拡大を防ぐために、対策を急ぐべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 現在、市における感染者や濃厚接触者の療養については、北海道釧路保健所が療養先を判断しているところである。市の医療体制は逼迫していないものの、一人での療養に不安がある軽症者等を集中的に管理する多病床療養施設の設置について、北海道に要望しているところであり、今後とも感染者を出さないよう、感染防止に努めていきたいと考えている。



新創ク
大越 拓也 議員



「日本製紙釧路工場の紙・パルプ事業撤退による人口減等の対策を」

問 日本製紙釧路工場の紙生産の終了により、人口減にさらなる拍車がかかることが懸念される。市全域及び鳥取地域の将来人口の推移や工場撤退の影響について見解を聞きたい。

答 現在、地域人口に与える影響を把握すべく調査をしている。撤退による経済的・社会的影響は、市全体にとって非常に大きいものと認識しており、日本製紙及び関連企業の従業員とそのご家族がこの地域に住み続けられるよう、人口減少対策や地域の活性化に向けた取り組みを進めていく。

9月2日(木)



新風
栗屋 剛 議員



「自治体としての判断のもと、国に対し強く意見を」

問 より良い日本をつくるには地方の力が絶対に必要であり、地方が国の政策を唯々下請けしていくなれば、それは実現できない。今後、何かおかしい、どこかおかしいという政策が示されたら、どうするか。地方自治体は、必要に応じて他の自治体と連携をとり、これまで以上に「間違いは間違い」ときちんと国に意見していく必要があると思われるが、見解を聞きたい。

答 これまでも、国に対しては、さまざまな手段により意見をしてきたところであり、今後も続けていきたい。



公明党
河合 初恵 議員



「幅広い事業者に対し、市独自の支援金の給付を」

問 緊急事態宣言による飲食店の時短営業や人流抑制の影響を受けた幅広い事業者に対し、市独自の支援金が必要と考えるが、見解を聞きたい。

答 飲食店や、飲食店と関わりのある事業者は疲弊しきっている。影響のある多くの事業者に対して支援を行うべく、飲食店には緊急事態措置協力支援金への上乘せ、飲食店以外では道の支援金等への上乘せ、タクシー事業者への事業継続に向けた支援金を検討しているほか、バス事業者には補助金の一部前倒し交付を予定している。



自政ク
続木 敏博 議員



「早急に全ての教師、幼稚園教諭、保育士等へコロナワクチンの接種を」

問 学校や幼稚園、保育園等の教職員等に対するコロナワクチンの接種を早急に進めるべきと考えるが、見解を示してほしい。

答 小中学校の教職員等については7月25日から、幼稚園・保育園等の教諭・保育士等については8月26日から優先的にワクチン接種を進めてきている。教職員等への接種は、子どもたちの大切な時間、学びの時間を確保する面で大事であり、極力早めていきたいと考えている。



市民連合
岡田 遼 議員



「新たな津波浸水想定を踏まえた取り組みを」

問 北海道が公表した新たな津波浸水想定の内容と、これから市が取り組まなければならない課題について、見解を聞きたい。

答 今回発表された津波浸水想定では、浸水区域内にある全ての一時避難所の浸水深が前回より下回っていることに加え、これまで活用できなかった建物を新たな一時避難場所に指定できる可能性が出てきた。この再選定作業を行うとともに、冬期の凍結路面における歩行速度を考慮した避難可能距離の見直し作業も、併せて行う必要があると考えている。

9月3日(金)



新風
森 豊 議員



「通学路の安全を守るための対策を」

問 千葉県八街市の小学生の死亡事故を踏まえ、重大事故に対する各種対策を講じることが重要と考える。子どもを守るのは大人の役割と認識するところであり、今後の対策を強化すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 関係各部と連携を取りながら、必要に応じたハード面の整備を迅速に進めていく。大人が交通規範を順守することが大切である一方で、子ども自身が自らの安全を守るための「危険回避能力」を高めることも重要であると考えており、学校における交通安全教育をより充実させていきたい。



公明党
月田 光明 議員



「市役所本庁舎改築に向けた基金の造成を」

問 築後55年が経過している本庁舎の改築に向けた財源対策について、基金の造成を検討すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 現在の本庁舎については、できる限り長く使用していかねばならないと考えているが、間違いなく近い将来に、建て替えが必要になる。基金の造成に関しては、6月定例会後に、関係部による協議を行い、まずは、新年度から基金の積み立てを開始すべく、予算編成の中で検討していくとの方向性を確認したところである。



共産党
村上 和繁 議員



「津波一時避難施設の見直しを」

問 北海道が公表した新たな津波浸水想定では、浸水深が前回よりも下がっていたため、音別町海光団地の5階建ての市営住宅を新たに一時避難施設として活用できないか、見解を聞きたい。

答 音別地区は、大楽毛南地区と同様に避難困難地域であり、最重要地域であると考えている。今回の浸水想定が、広範囲にわたって前回の浸水深より下がっているため、海光団地についても新たな避難施設として活用できないか検証していきたいと考えている。



共産党
梅津 則行 議員



「『コロナ問題』について広く市民に情報発信を」

問 緊急事態宣言時においては、1週間に1回「コロナ問題」の記者会見を開き、市長が直接、市民に情報を伝えることを提案するが、市長の見解を聞きたい。

答 首長として、市民の方々が関心を持っていることを速やかに説明をすることや、しっかりとメッセージを届けていくことは、重要と感じている。現在、フェイスブック等で情報を発信しているが、インターネットを使えない方もいるため、提案を踏まえながら、どのような形の情報発信がよいのか考えていきたい。

市議会ホームページで発言通告
一覧をご覧ください。



共産党
西村 雅人 議員



「PCR検査の徹底を」

問 釧路空港や釧路駅で新型コロナウイルス感染症を診断するためのPCR検査を実施すべきと考えるが、見解を示してほしい。

答 空港などで行われるPCR検査については、モニタリング検査として国が実施しているところであり、市としては、感染拡大防止や重症化を防ぐことを目的としてワクチン接種を実施しているところである。



共産党
工藤 正志 議員



「校則に関するアンケート調査の実施を」

問 児童生徒によりよい学校生活を過ごしてもらうため、校則に関するアンケート調査を行い、改善が必要だと判断した場合は早急に改善すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答 校則については定期的に確認をしており、現況いわゆる「ブラック校則」はないと把握している。校則は、時代の変化や社会環境、児童生徒の状況の変化に応じて積極的に見直す必要があると捉えており、これまで同様、児童生徒が主体的に児童会や生徒会で話し合うなど、時代に即したものとなるよう今後も助言していく。

用語解説

※1 避難行動要支援者避難支援事業 (公明党 松原議員)

避難行動要支援者(災害時に避難支援等の必要がある高齢者、障がい者等)に対して、町内会が支援組織となり、避難支援プランの作成、災害時の安否確認、避難施設への誘導等の支援を行う事業。

※2 浸水深

(市民連合 岡田議員、共産党 村上議員)

陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。

※3 ブラック校則

(共産党 工藤議員)

一般社会の常識から懸け離れた不合理な校則。

委員会審査

今定例会では、予算決算常任委員会と3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。
(予算決算常任委員会は4面に掲載しています)

総務文教常任委員会

三木 均 委員長

旧日本銀行釧路支店 「建物の利活用に向けた検討を」

「旧日本銀行釧路支店は、リバーサイドの景観やにぎわいづくりにとって重要な建物であり、多くの市民の方々の思いもあると考える。建物を長期的に保存していくためにも、壁の剥離やひび割れ、漏水箇所に対する手だてが必要ではないか。また、早急に市民や企業の声を聞くなど、建物の利活用について検討すべきではないか。」との質問がありました。

市長は「当建物は老朽化が進み、利活用を図るためには多額の費用が必要となるが、リバーサイドの活性化において重要な建物であり、存続の手法や活用方法について幅広い意見をいただくことは大切であると認識している。可能な限り早期に、どのように進めていけるかについて協議していきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会

秋田 慎一 委員長

子育て施策の推進に向けて 「子どもに優しい公園づくりを」

「市が、さまざまな子育て施策を打ち出している状況において、小さい子どもや障がいを持つ子どもにも優しい公園づくりが必要になると思われるが、見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は「小さな子ども向けの遊具が設置されている公園は少なく、水飲み場なども子どもの背の高さに合わせたデザインとなっていないのが実情である。子育てにおいて、公園が果たす役割は重要であると認識しており、子育て関係の各種団体からも、さまざまな要望が寄せられていることから、それらにも耳を傾けながら、子どもに優しい公園づくりについて検討していきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

佐藤 勝秋 委員長

環境基本計画および一般廃棄物処理基本計画 「普及啓発の推進を」

「InstagramやYouTubeなど、さまざまな媒体を利用して周知することは、これからの時代ますます重要となる。その上で、ただ情報を発信するだけではなく、どうしたら多くの人に伝わるかを考え、他課とも情報発信の方法などを共有しながら、普及啓発の推進に向けて取り組むべきではないか。」との質問がありました。

理事者は「ホームページをゆっくり見る時間がない子育て世代やSNSを活発に活用する若い世代なども想定した上で、InstagramおよびYouTubeを活用した情報発信に向けて取り組み始めたところであり、これらを積極的に活用していくとともに、出前講座などの従来の方法も活用しながら、さまざまな機会において幅広い世代への周知に取り組んでいく。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

月田 光明 委員長

「北海道石炭対策連絡会議による中央特別要請」について

理事者から、「7月19日に北海道議会産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長、北海道経済部長、釧路市長および釧路コールマイン株式会社社長らが、オール北海道の枠組みである北海道石炭対策連絡会議として、経済産業省資源エネルギー庁に対し、炭鉱保安技術等の海外移転推進に向けた取り組みの充実と継続などについて、オンラインにより要望を行った。経済産業副大臣から、『石炭は、依然として電力を支える重要な燃料であると理解しており、要望内容は、経済産業省としてしっかりと受け止め、対応していきたい。』と話があった」と報告がありました。

都心部市街地整備特別委員会

大澤 恵介 委員長

釧路都心部まちづくり計画

「駅高架下の接続道路の形状について、市民理解を深めるため、さらなる検討を」

「釧路都心部まちづくり計画の市民説明会において、北大通と共栄大通の接続道路の直線化を求める声があったが、その変更も含め市の考え方を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は「本計画の大きな目標である、都心部を人と公共交通中心の空間に変えるためには、都心部を目的地としない自動車の流入を抑制することや、駅前に人が集い憩うことができる拠点となるオープンスペースの配置が重要である。今後、より詳細な調査を実施し、国や北海道等の関係機関と協議を進める中で、接続道路の形状について大きな目標を確保しながら、さらなる検討を進めるほか、説明会を追加開催し、市民理解を深めていきたい。」と答えました。

予算決算常任委員会 酒巻 勝美 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、9月6日から10日まで補正予算に関する審査と採決を行ったあと、13日から令和2年度の決算に関する審査を行いました。

初めに監査委員による決算審査に関する講評とそれに対する質問を行ったあと、15日まで各分科会で付託議案に関する審査を行いました。

総務文教、経済建設および民生福祉分科会では「学校における医療的ケア児への対応」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」、「近隣町村と連携した増養殖事業の推進」、「釧路市ビジネスサポートセンターの事業効果」、「ひとり親家庭への就労支援の促進」などについて、石炭対策・関連エネルギー調査分科会では「旧太平洋炭炭鉱展示館の活用」などについて、都心部市街地整備分科会では「都心部まちづくり計画(事業構想編)事業概要の作成」について、それぞれ質疑がありました。

16日の委員会では、各分科会委員長の審査報告後、市長総括で「不登校の児童生徒への支援」、「錦町駐車場テナント空き室の解消」、「音別町認知症高齢者グループホームの休止」などについて質疑を行ったあと、採決を行って閉会しました。

上下水道事業審査特別委員会の概要

6月定例会で設置された上下水道事業審査特別委員会は、閉会中の7月15日(木)に開会し、16日(金)、21日(水)の3日間にわたり水道料金および下水道使用料の改定に関する議案について審査を行いました。

委員会では、料金改定の基礎となる財政収支計画において、人口減少を見据えつつも、市民の負担軽減に向けた料金改定率の圧縮や、業務用下水道料金の値上がりに対する事業者への支援、市民や事業者への周知の在り方などについての議論がありました。

審議の結果、付託議案の「令和3年度釧路市水道事業会計補正予算」、「令和3年度釧路市下水道事業会計補正予算」および「釧路市水道事業給水条例等の一部を改正する条例」について、9月定例会中に採決を行い、賛成多数で可決しました。

なお、採決に際し反対討論がありました。要旨は右記のとおりです。

反対討論

共産党 村上 和繁 議員

令和4年度から水道料金2.9%の値上げと下水道使用料の引き下げを行い、上下水道料金の合計で見ると、家事用は負担増とはならないが、業務用は6割の事業者が値上がりとなる。業務用の上下水道料金は、改定前の料金ですら道内主要市の中では一番高いものであり、これ以上の負担増は行うべきではない。さらに今後、老朽管の更新等に活用する資産維持費が導入されれば、下水道使用料も値上げ傾向となるのは間違いのない。この機会に、適正な一般会計からの支援を制度化し、値上げを抑制すべきである。

また、将来の財政の見通しや、推計の精度に疑問が残る。令和2年度末の資金は、4年前の推計額を9億8千万円上回るものであった。市は、今回の試算で令和8年度には1億7千万円の資金不足が生じると推計しているが、その結果が10億円規模で違えば、値上げは必要なくなる。推計の精度について検討・精査すべき余地はかなりあると考える。以上のことから反対する。

令和3年第4回9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意)となったもの(24件)

市 長 提 出 議 案		議 員 提 出 議 案	
予 算	令和3年度 介護保険特別会計補正予算	条 例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
	令和3年度 動物園事業特別会計補正予算		音別地域交流拠点施設条例
	令和3年度 公設地方卸売市場事業会計補正予算		企業立地促進条例の一部を改正する条例
	令和3年度 一般会計補正予算(議案第96号)		市道路線の認定の件
決 算	令和2年度 病院事業会計決算認定の件	そ の 他	産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	令和2年度 工業用水道事業会計決算認定の件		生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	令和2年度 農業用簡易水道事業会計決算認定の件		生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
条 例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	人 事	教育委員会委員の任命について同意を求める件
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例		監査委員の選任について同意を求める件
			公平委員会委員の選任について同意を求める件
議 員 提 出 議 案		議 案	
意 見 書	出産育児一時金の増額を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣)		
	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣)		
	持続可能な営農支援を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣)		
	子ども子育て世帯への経済的支援を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣、内閣官房長官)		
議 長 付 議 案		議 案	
選 挙	選挙管理委員及び補充員選挙の件		

◎ 賛否が分かれたもの(13件)

○賛成 ×反対

市 長 提 出 議 案		議 員 提 出 議 案							審 議 結 果
件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	共産党(4)	新 風(3)	新創ク(2)		
予 算	令和3年度 一般会計補正予算(議案第71号)	○	○	○	×	○	○	可 決	
	令和2年度 各会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認 定	
決 算	令和2年度 水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認 定	
	令和2年度 下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認 定	
	令和2年度 港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	×	○	○	認 定	
そ の 他	過疎地域持続的発展市町村計画の策定に関する件	○	○	○	×	○	○	可 決	
	訴えの提起の件	○	○	○	×	○	○	可 決	
議 員 提 出 議 案		議 案							審 議 結 果
意 見 書	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣、内閣官房長官)	○	○	○	×	○	○	可 決	
	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)	○	○	×	×	○	○	可 決	
	保健師等の大幅増員及び保健所機能の抜本的強化を求める意見書	×	×	○	○	×	×	否 決	
継 続 審 査 中 の も の		議 案							審 議 結 果
予 算	令和3年度 水道事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	可 決	
	令和3年度 下水道事業会計補正予算	○	○	○	×	○	○	可 決	
条 例	水道事業給水条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	可 決	

◎ 請願・陳情(1件)

○採択 ×不採択

件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	共産党(4)	新 風(3)	新創ク(2)	審 議 結 果
陳 情	「よちよちひろば新橋」の再開を早期に求める件	×	×	×	○	×	×	不 採 択

※ 自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。